

# 生命と倫理

## 第8号

巻頭言 ————— 浅見 昇吾 1

### 論文 1

オランダ安楽死法と欧州人権条約  
——自己決定権と生命権—— 盛永審一郎 5

### 論文 2

倫理的で持続可能な事業活動の環境・人権デュー・ディリジェンスの重要性  
——インドネシアのパーム油生産業の事例—— ウィニバルドス ステファナス メレ 21

### シンポジウム「出生前診断に向き合う」原稿

産婦人科医から見た非侵襲的出生前検査（NIPT）の本質 ————— 石原 理 37

産む選択と産まない選択 中立的なピアサポートとして ————— 水戸川真由美 47

親の意思決定を支える遺伝カウンセラーの役割 ————— 滝澤 公子 53

出生前の生命をめぐる法と倫理 ————— 本田 まり 65

出生前検査のあり方について考えること ————— 山中美智子 77

助産師と教員の立場から出生前診断に関わる方々に質問したこと ————— 島田真理恵 83

NIPTをめぐる法的課題  
——諸外国の例をもとに考える—— 小林 真紀 87

2020年度 講演会・シンポジウム概要報告 ————— 93

投稿規程・執筆要綱 ————— 95